

# **福岡県移住者子弟留学生**

## **第 1 回報告書（6月）**

### **テーマ**

**「自分の出身国の事。福岡に来てから今日までのこと。」**

## ブラジル福岡県人会

### 太田 砥綿 ジュリア 留理

## 九州大学大学院 芸術工学府

初めまして、太田砥綿ジュリア留理と申します。今年 25 歳になりました。出身はブラジルのサンパウロ州サンパウロ市です。家族は 4 人で父と母、姉と私です。犬もいます。ブラジルのマッケンジー大学に 2016 年に入学して、建築を勉強し、2020 年に卒業しました。

5 年前、姉が県費留学生として福岡に来ました。姉から「日本での生活や勉強がとても楽しかった」と言われたので、いつか私も日本に行きたい、同じ体験をしたいという思いが強くなり、私もブラジル福岡県人会の県費留学生として日本に来たのです。そして、福岡は祖父の故郷でもあり、祖父の故郷をもっと知りたいという気持ちもあります。

コロナ禍により、日本に行けるか心配していましたが、無事、4 月に日本に来ることができて本当に嬉しかったです。ここ、福岡で過ごしたこの 2 カ月は素晴らしいかったです。

私は今、九州大学大学院の大橋キャンパスで芸術工学府の環境設計コースに入り、建築を勉強していて、自然災害により、建てられる仮設住宅について研究しています。他の授業にも参加しています。すべての授業は日本語で行われ、色々な新しい単語と技術用語を学んでいます。時々言葉が分かりにくい時もありますが、研究仲間や担当の先生が助けてくれて、少しずつ学んでいます。研究室では毎週ゼミがあり、自分の研究テーマだけでなく、他の研究仲間について学ぶことができます。

6 月には大学のイベントに参加する機会がありました。竹灯籠作りのイベントに参加し、とても良い経験をしました。ブラジルの大学生活では新型コロナウイルス感染症のせいですべての授業がオンラインで行われたのですが、ここでは、対面式のクラスに参加できてうれしいです。また、大学授業外の研究関連のイベントにも参加でき、素晴らしい経験をしています。

4 月 20 日に福岡に着きましたが、私は 7 日間の自主隔離をしました。その後、4 月末に今年の県費全員と一緒に河内藤園、小倉、門司港に行き、とても楽しい時間を過ごすことができました。すべての場所はとてもきれいで、普段見慣れた風景とは違う風景を見ることができ、嬉しかったです。5 月のゴールデンウィークにも県費と一緒にピクニックをしたり、博多どんたく祭りに行ったりして博多と天神の地域をよく知ることができました。5 月中旬には、ベイサイドウィークエンドフラに行って、イベントのお手伝いもし、そして百道浜と福岡タワーにも行きました。また、福岡ミュージアムウィークには、ふるさと館、福岡アジア美術館、九州産業大学ミュージアムの 3 つのところにも行きました。

6 月には家族会の総会があって、総会の後にバーベキューに参加することになりました。たくさん食べ物を食べたり、ゲームをしたり、とても面白かった日です。家族会イベントの翌日には太宰府に行きました。その日は、一日中雨でしたが、なんとか旅行を楽しむことができ、とて

も楽しかったです。6月中旬に伊都に住んでいるブラジルの友達とメキシコ福岡県人会の川島麻耶さんと一緒に福岡市民防災センターとチームラボフォレストに行きました。福岡市民防災センターでは自然災害や火災に関連する新しいことをたくさん学びました。

この2カ月間色々な場所を訪れましたが、たくさんの美味しい食べ物も食べました。刺身、バーベキュー、回転寿司、豚骨ラーメン、餃子、豚カツ、明太子、天ぷらを食べて、色々なお菓子やスイーツも食べました。

この一年間に日本語を上手に話せるように、そして日本の建築について学び、私のおじいちゃんのふるさともっと知り、新しい友達を作りたいと思います。

## 在ボリビア福岡県人会

林 直人 ダニエル

九州産業大学 芸術学部

僕は南アメリカのちょうど真ん中にある国、ボリビアで生まれました。細かく言うと、出身地はボリビア国、サンタクルス州のサンファン日本人移住地です。

サンファンに初めて日本人が移住したのは1955年で、最初のグループは88人でした。それから毎年移住する人の数が増えて1992年、最後のグループがサンファンにつき、合計1,685人の移住者がサンファンという新しいところでも辛い、ジャングルの中での生活を始めました。

それから67年後の今、サンファンの人口はボリビア人含めて約1万2千人です。日系人の数は760人。亡くなられた人や、日本に移住した人も多く、残念ながら1992年にいた数の半分以下になりました。現在は、お米や大豆、卵と牛肉の生産でボリビア国内では有名です。「CAISY」と言う農牧総合協同組合はサンファンで日系人が生産する作物を国内に販売しています。

僕の出身地は平和でもとても豊かな小さい村です。なので日本というボリビアより人口が十倍も多い、高度な技術を持つ国に一人で来ることはとても不安でしたが勇気をもって、無事4月20日に36時間の長い時間をかけて福岡に着き、早速次の日から福岡県国際交流センターのイムさんと一緒に大学で一年間お世話になる佐藤先生の所に伺いました。先生と話しながら前期と後期に受ける授業科目を選択し、ゴールデンウィークが近づいていたため、長い休みが明けてから授業を受けることを決めて、その間なるべく早く新しい生活に慣れるよう頑張りますと伝えました。因みに僕は九州産業大学で芸術学部の生活環境デザイン学科のプロダクトデザインを勉強します。

4月末までは他の県費留学生と天神や博多、香椎浜、河内、小倉と門司港へ行き、福岡県は都会もあれば山や海もあってとても住みやすいところだと実感しました。

5月が始まってからは元県費の先輩達とピクニックをし、福岡地区家族会の総会に参加しました。初めて大勢の前で挨拶や自己紹介をしたので緊張しました。でも来福してから今日まで一番緊張したのは5月10日、福岡県国際交流センターの福島専務理事にお会いしたことです。スーツを着ての表敬訪問で自分の日本語力に自信がなく不安でしたが、彼は親切でもとても話しやすい人だったのでその日はスムーズに終わり、いい思い出になりました。

5月後半には総会で知り合った立石さんの家で皆と食事をしたりベイサイドでハワイイベントのボランティア活動、その他に福岡タワーへ行き百道浜でタコスを食べました。初めての回転寿司にも行ってとても美味しいものを毎日食べています。そして、5月30日には福岡県

庁を訪ね、生嶋副知事を表敬訪問しました。副知事との歓談の中で激励の言葉をいただき、とてもありがたく思っています。

6月になると今度は福岡県海外移住家族会の総会があり、県費留学生はパワーポイントで自己紹介をして、その後皆と一緒にバーベキューを楽しみながら色んな人と話すことができました。週末は福岡地区家族会の大瀧さんとボリビアでは習えない浴衣のお稽古をしました。また、6月の半ばには両筑地域家族会の総会に参加するために一日前、山崎さんの家に行き、久留米の観光スポットに連れて行ってもらいました。彼は毎年ボリビアから来る留学生のことをお世話してくれるそうで感謝の気持ちでいっぱいです。次の日、総会に参加した後、皆とお食事をして時間を過ごしました。

6月は梅雨入りで蒸し暑いですが、5月から毎日香椎浜を一周していて大分体の調子が良くなって筋肉を鍛えています。その他にも大学へ行き、友達もできて毎日忙しいですがとても楽しく福岡での生活を送っています。

## メキシコ福岡県人会

### 川島 麻耶

## 九州大学大学院 人間環境学府

私はメキシコ福岡県人会から、2022 年の福岡県移住者子弟留学生としてきました川島麻耶と申します。メキシコの北東部に位置するヌエボ・レオン州の州都、モンテレイ市出身です。モンテレイはメキシコ第 3 の都市で、スペイン語で「山の王」と訳され、山に囲まれている町です。人口は都市圏を含めて 534 万を超えます。大規模なメキシコ企業の発祥地でもあり、アメリカとの国境に近いので、外資系企業も多いです。日系企業も多くあるので、日本人も住んでいます。

私はメキシコのモンテレイ大学で工業デザインの勉強をしました。家具、車、おもちゃ、電気用品など日常生活で使う物のデザインです。人々の私生活により使いやすい物やニーズによってデザインに取り組む専門です。卒業論文・プロジェクトは空間デザインにも関心があることから、モンテレイ音楽ダンス高等専修学校で不安障害を持つ生徒用の空間をデザインしました。

同時に学生時代は、モンテレイの東北部日墨協会で、日本語に関心があるメキシコ人に日本語レベル 1 を少し教えました。その他にも色々な日系企業で、毎年夏休みは通訳のアルバイトもしていました。これが私にとって中学校以来、日本語を一番勉強できた時期だと思います。専門用語も学びながら、日本人の方といっぱいお話しできたので、自分の日本語に自信が付き始めました。

我が家は 4 人家族です。日本人の父、福岡出身の日系 3 世メキシコ人の母と 3 歳下の弟がいます。私のひいおじいちゃん(大熊テイゾウ)が田主丸町出身で、1928 年頃にメキシコへ移住しました。そして 1952 年、メキシコ福岡県人会の設立メンバーでした。祖父(大熊マサミ)は 1996~1997 年にメキシコ福岡県人会の会長を務めて、その後亡くなるまで委員会の一員でした。他にも北九州市に親戚がいて、今回福岡に来て初めて会うことができました。母も私と同じく 1989 年に福岡県移住者子弟留学生として福岡へ来て、同じ九州大学で勉強しました。

4 月中旬に来日して、合計 25 時間のとても長い旅で福岡に着きましたが、とてもワクワクした旅でした。福岡県移住者子弟留学生として来日する前までは、モンテレイでアメリカの外資系企業に勤めていましたが、就職した 6 カ月後に新型コロナウイルス拡大感染が始まり、1 年半はリモートワークをしました。家にいる時間が多くなり、色々と将来に関する事を考える時間ができたため、昔からの日本で生活をする夢にもう一度チャレンジしました。他にもデザイン以外の勉強をしたいという希望もありました。この悩みとストレスを見た母から福岡県移住者子弟留学に応募すればと提案してもらいました。日本で一年間住みながら、関心の

あるものを勉強して、色んな人と出会って、自分がやりたいことを見つける可能性を作れることから福岡県移住者子弟留学生になりたいと思いました。さらにメキシコシティと比べると、モンテレイの日系コミュニティは小さいので、あまり日系人と触れ合ったこともないことと、日系人の友達もいないので、とてもいい機会だと思いました。

今年は、九州大学大学院人間環境学府教育システム専攻でまちづくりと日本で暮らす難民の子供たちの環境や教育問題について研究をさせて頂いています。研究と共に関連する授業も受けています。大学のキャンパスはとても広くて、中央図書館が1番好きな場所です。先生と研究室の学生達から支えてもらいながら、友達にもなってくれたので、大学生活がとても楽しいです。国際交流に関するサークルにも入りました。

福岡にきてから2カ月半がたち、他の4人の留学生と元県費の先輩らに出会って新しい家族ができたことも、とても嬉しいです。この留学が終わっても何かあったら助け合ったり、またあったりできるような仲間を作りたいです。

4月は初めての福岡での生活に慣れ始める月であって、28日は自分の誕生日でした。他の県費からサプライズパーティーをしてもらいました。一緒にカラオケに行き、全力で歌って、ケーキも食べて、プレゼントまで貰いました。今年はとても特別な誕生日で思い出に残ります。5月はもう少し生活リズムが整ったなか、みんなで初めての日帰り旅行で北九州へ行きました。私は小倉に住む親戚とも初めて会うことができました。元県費生の先輩からの紹介で弓道の見学にも行き、とても関心があるので自分も習いたいと思いました。他にも生花の展覧会に行つて素敵な作品を見たり、色々な美術館へ行きました。6月からは正式に弓道を習い始めました。稽古ごと、新しいことを学んで弓道への関心と愛が大きくなります。他にも家族会の皆さんからも色々な体験に招待してもらい、とてもありがたく思います。

福岡では色々なことができ、毎日が新しい冒険です。この一年の間、参加可能なイベントや活動は出来る限り全部参加して、日本の文化や日常なことを体験したいです。友達もたくさん作り、日本語の向上にもつながると思います。他にもひいおじいちゃんの故郷である田主丸町について調べて親戚を探し、北九州に住む親戚ともっと触れ合うことも今年の目標です。この目標を目指して頑張りたいと思います。

## ペルー福岡県人会

### 古賀 金子 メグミ アレハンドラ

#### 九州産業大学 芸術学部

初めまして、令和4年度、2022年県費留学生、ペルー福岡県人会から来た古賀金子メグミアレハンドラです。リマ市で生まれ、ペルーのUniversidad San Ignacio de Loyolaという大学でグラフィックデザインを勉強し、2020年に卒業しました。4月末、ペルー・リマから日本・福岡に無事着き、今は九州産業大学の芸術学部で写真を勉強しています。

私の家族は4人で、父と母そして妹がいます。2年前に、家族と一緒に初めて、福岡に来て、福岡の親戚と会いました。父の家系の出身地である八女市に行き、私の祖先についてより知ることができました。このことは素晴らしい経験であり、私はとてもうれしかったです。福岡には数日しかいなかったのあまり福岡を観光することができませんでしたが、いいところだと思いましたので、今、再度福岡に戻ってきたのはとても嬉しいことです。

福岡に来てからもう2ヶ月がすぎました。日本には数回、そして福岡に来たのはこれで2回目になります。この2か月間、色々なことを経験しました。最初の1ヶ月は新しい生活に慣れることや、新しいことをたくさんしたので、あっという間に過ぎてしまいました。

始めは、他の県費留学生とも出会い、さまざまな国や文化についてもっと学ぶことができました。そして、一緒に買い物に行ったり、一緒に食事をしたり、ちょっとした日帰り旅行もしました。豚骨ラーメン、メンタイフランス、お好み焼き、バーベキュー、パフェ、ペルーでは食べられないマックの照り焼きバーガーなど、美味しいものをたくさん食べました。太宰府天満宮や河内藤園など、絶景の絶景を訪ねてみました。

また、家族会のおかげで他の県費留学生と一緒に浴衣の着方を学びました。これにより日本の習慣や伝統についてもっと学ぶことができました。そして、親戚にも会いました。前回、福岡に来た時には私の日本語があまり上手ではなかったのですが、親戚とあまり話せませんでした。今は自分の日本語で少し会話ができるようになりました。

学校の生活も楽しんでます。日本で写真を学ぶ機会を持つことができ、とても感謝しています。今、受講しているすべての授業は楽しく、大好きです。毎日新しいスキルを学んでいます。現在、受けている授業では、白黒フィルムの開発方法を学んでいて、そのプロセスはとても素晴らしいです。実は、これまでフィルム写真を現像したことがなく、フィルム現像の方法を学んだ時には非常に感動しました。他の授業では、毎週新しいコンセプトとテクニックを使った写真撮影を行っていて色々な写真撮影のことを学ぶことができます。ゼミにもはいており、多様なテクニックを試し、写真を楽しむことができます。写真撮影の授業は楽しくて、とても面白いです。また、滝内先生から配慮を受け、日本語のレッスンも受けていて、少しずつ日本語を勉強して、今年の終わりには日本語でもっとコミュニケーションが上手にできるようになりたいです。

この2か月はあっという間でとても忙しかったのですが、とても楽しかったです。これからも一生懸命頑張ります。



## ハワイ福岡県人会

### 仲村 せり ちよ

#### 福岡大学 理学部

ハワイ福岡県人会から来た 2022 年の福岡移住者子弟留学生、仲村せりちよです。

福岡に来てから、もう 2 ヶ月が過ぎ、春からどんどん夏の福岡の景色が見えます。私は福岡大学で研究と授業を受けており、毎日勉強が続いていますが、たまには、他の県費留学生とともに観光したりして、福岡を、そして日本を楽しんでいます。

私は、4 月 13 日福岡に着き、次の日、担当の端山先生に伺い、翌日からすぐ大学の生活を始めました。住んでいる自協学舎から学校までは 1 時間ほどかかり、乗り換えが 2 回あり、毎回冒険しながら通学しています。私は、この 1 年間、福岡大学の理学部で端山先生の研究室で自分の研究を進めています。私は、AM CVn、いわゆるりょうけん座 AM 星と言う天体の研究をすることに決めました。そして、端山先生が研究している重力波プロジェクトを手伝うことにもなりました。

5 月になってから、日本の生活に少し慣れることができました。薙刀術と言う武術を学ぶクラブにも入り、基本的なことを少し習いはじめました。まだ何も知りませんが、部活を一緒にするみんなから、なぎなたの動かし方、当て方を教えてもらっています。

6 月には色々なことをしたり、食べたりして、いい思い出を作ることができました。元県費の先輩と一緒に、太宰府天満宮を観光し、九州国立博物館にも行きました。ちょうど「北斎」の展示があり、皆で鑑賞し、商店街を歩き、たくさんの店をみながら、ゆずのアイスも食べてみました。この日は雨でしたが、雨の景色は本当にきれいでした。そして、6 月の半ばに、東京を旅行しました。メキシコの麻耶さん、ペルーのめぐみさんとディズニーシーに行ったり、新宿を観光しましたが、東京はとても暑い日が続いていて、40℃の気温を経験できました。福岡に帰って、次の日には博多駅に親戚に会いに行き、昼ご飯でうなぎを食べました。そして、一緒にたくさんのお寺に行き、おじさんから仏教のことを教えてもらいました。福岡に来る前は、親戚と話をする機会がなかったですが、この 2 ヶ月で 3 回も会えることができ、とても嬉しいです。

私は時々、歩く時、福岡の山の景色を見ると、私のふるさと、ハワイを思い出します。私が住んでいたのはハワイのオアフ島で、どこをみても自然の緑が見えるところです。私はよくハイキングをしました。私が一番好きなのは尾根をハイキングすることです。ハワイ州の島々は火山ででき、大きい島のハワイ島とオアフ島とマウイ島には山脈があります。オアフ島も山脈が長く、尾根があるハイキングスポットが多く、全てのところでオアフ島のきれいな景色を見ることができます。

ハワイは古くて歴史的なところがたくさんあります。戦争の前からあまり変わっていない道と、歴史のあるビルがあるので、この歴史的景観を守るため、ハワイ州は元から外見などを変えられない規則を作りました。私のおばあさんは歴史のある道路の近くに住んでいて、この道をドライブしたり、歩くと、非常に懐かしく、穏やかで、落ち着く気持ちを感じさせます。また、ハワイは海が有名で、きれいな珊瑚の景色も有名です。海に行くと、私は潮溜まり、タイドプールに行くことがとても好きです。子どもの頃、おばあさんと妹と何回も、ハワイ島の潮溜まりに行き、いい思い出を作りました。ハワイ州の景色は綺麗ですが、公害と気候変動で、どんどん変わりがつあります。そのため、ハワイ州政府は自然を守る規則も作りました。多くの自然がハワイで少しずつ消えているのは心寂しいですが、永遠で大切なハワイを守りたいと思います。